

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	浄化センター所長		永田 直樹
都整－49 終末処理施設整備事業(特別会計)		■ 自治事務	主管課	浄化センター	
		□ 法定受託事務	関連課	下水道河川課	
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針	下水道の整備・管理	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	下水処理施設の機能回復により、汚水の適正な処理を図るため。
効果	処理の安定化、施設の自動化・省力化を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・山崎浄化センター汚泥焼却設備の改築工事については、年度内に完了できなかったため、翌年度に繰越しを行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
決算値(千円)	39,400	111,702	当初予算(千円)	1,235,298	
国県支出金	19,700	61,436	国県支出金	677,163	
地方債		45,239	地方債	502,381	
その他			その他		
一般財源	19,700	5,027	一般財源	558,135	
人員配置数	1.4	1.4	人員配置数	3.5	
人 件 費(千円)	10,402	10,543	人 件 費(千円)	26,733	
総事業費(千円)	49,802	122,245	総事業費(千円)	1,262,031	
市民1人当りの経費(円)	281	690	市民1人当りの経費(円)	7,135	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済
		○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	見直しの種類 ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		見直しの内容
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
総評(評価に対する考え方、根拠等)	国庫補助事業の活用を図りながら計画的に進める。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	山崎浄化センター汚泥焼却設備等の老朽化対策を講じる。		
課題解決のために行った平成27年度の取組	老朽化した汚泥焼却設備の改築更新工事を平成27年度から開始した。		☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・平成27年度から29年度までの予定で、同設備の改築工事を行う。 ・今後更なる確かな整備計画に基づき予算の平準化に努める。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---